

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と 宮崎中学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本校におきましては、学校教育目標を実現するために、次の3つの資質・能力の育成を目指して、日々の教育活動に取り組んでおります。

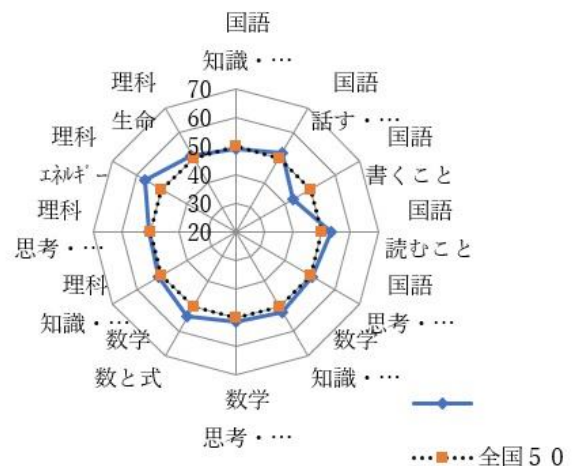
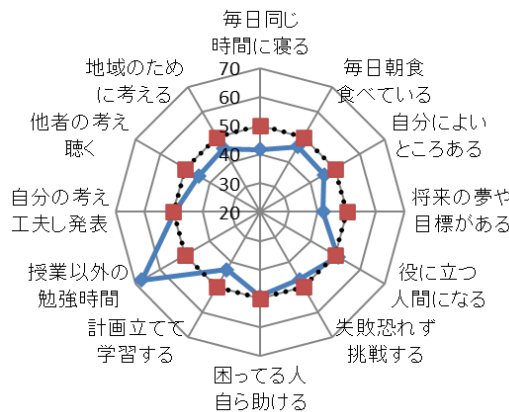
<p>【宮崎中学校が育成を目指す資質・能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実生活に活用できる基礎的・基本的な知識や技能 ○ 身につけた知識を活用して自ら考え、表現する力 ○ 主体的、協働的に取り組もうとする態度 	<p>【目指す生徒像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心身ともに健康な生徒 ○ 自ら学び、考え、実行できる生徒 ○ 周りとの協働できる生徒 ○ 礼儀正しい生徒
--	--

このたび、4月19日（火）に3年生対象に実施されました全国学力・学習状況調査の調査結果が配付されました。今回の全国学力・学習状況調査（国語・数学・理科）の調査結果から見えてくる教育活動の成果と課題の一部をお知らせし、今後、本校が目指す目標の実現に向けて、保護者の皆様や地域の方々と共有し、生徒のよりよい成長を促すための授業改善や教育活動の見直しに取り組んでまいりたいと存じます。本調査の趣旨をご理解いただき、より一層のご支援ご協力をお願いいたします。なお、全国学力・学習状況調査の結果で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることが調査の実施要領に示されております。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

1. 調査結果の概要

*示している数値は、教科調査および質問調査の各設問の「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の

合計数値で、() は全国の数値です。下の図は 全国の結果を50とし、本校と全国との差を示したグラフです。



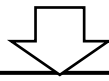
2. 調査結果をもとにした今後の取組

(1) 心身ともに健康な生徒を育てるために

○ 困っている人を自ら助ける。	87.7% (88.4%)
○ 人の役に立つ人間になりたい。	95.6% (95.0%)
● 将来の夢や目標を持っている。	59.2% (67.3%)
● 計画を立てて学習する。	51.5% (58.5%)

○ 他者への配慮や、社会の一員として活動する大切さを理解し、自らの生き方と重ねようとする姿勢が身に付いていると捉えています。

● 目標を決めたり、自分が何をすべきか考えたりするなど、抽象的なものを具体化していく力が必要と考えられます。



【今後の取組】

総合的な学習の時間や道徳の授業等で、自らの生き方について問う場面を意識して設定してきたことにより、他者を尊重して、社会の一員として協動的に取り組む態度を養おうとする生徒が増えてきました。また教科の授業内で、ICT機器を活用して自らの考えを伝える活動に力を入れた結果、自分の考えを工夫して表現する力が身に付いてきたと考えます。ただ課題としては、漠然と浮かび上がってきた理想を実現していくための道筋を積極的に立てる力が不足していると思われます。

これからは、学級活動や学校行事において、より実践的に集団をよくしていく方法を含めて振り返る場面を意識して設定したり、授業で学んだことを自己の生き方と重ねていったりする活動を教科横断的に取り入れていくことにより、主体的に学んでいく生徒の割合が向上するよう取組を進めます。

(2) 自ら学び、自ら考え、実行できる生徒を育てるために

・国語

- 国語の勉強は好きですか。 68.6% (61.9%)
- 国語の授業の内容はよく分かりますか。 80.6% (81.2%)
- 主体的に文章を読み、内容を解釈したり、自分の考えを広げたりすることに課題がない。→ 当てはまる 35.8% (32.2%)

- 国語の授業に関して興味・感心が高く取り組んでいる生徒の割合が、全国の状況と比較すると良好であると捉えています。
- 授業では、文章を読み取ったり、思考したりする場面や学習内容を活用していく取組をさらに増やすことが課題であると考えます。

・数学

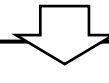
- 数学の勉強は好きですか。 58.9% (58.1%)
- 数学の授業の内容はよく分かりますか。 83.3% (76.2%)
- 学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。 51.9% (47.3%)
- 問題の解き方がわからないとき、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。→ 当てはまる 71.2% (75.2%)

- 主体的に取り組んでいる生徒の割合が、全国の状況と比較すると良好であると捉えています。
- 課題に対して、グループワーク等で生徒同士の対話的な学びの中で、気づきやわかる喜びを通して、あきらめない姿勢を身につけさせる授業を継続します。また、正誤に関わらず、意見や考えを表現すること自体を互いに認めるような授業の割合を増やします。

・理科

- 理科の勉強は好きですか。 60.2% (66.4%)
- 理科の授業の内容はよく分かりますか。 74.9% (75.2%)
- 授業で自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。 77.9% (64.5%)
- 学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか。→ 当てはまる 57.9% (61.5%)

- 自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てることができる生徒の割合が、全国の状況と比較すると良好であると捉えています。
- 日常生活に照らし合わせて判断していけるように授業内容を工夫し、学習した内容を生活の中で活用できる生徒の割合を増やします。



【今後の取組】

国語では、言葉に着目してその特徴や効果に気付き、意味や働きについて考えを深めながら作品を読み取る授業づくりを目指します。特に、読み取った内容をもとに自分の考えを互いに言葉で表すことの意義やよさを通じて、国語学習の楽しさが体験できるよう努めます。

数学では、数と式、関数の処理能力が高い生徒が多い。また、図形問題も平均的に良好であると捉えることができるが、確率・統計の資料の考察が弱いと考えられるので、読み取る力や分析する力を日頃の学習から増やしていくよう努めます。

理科では、「エネルギー」や「地球」を柱とする領域に関する正答率が県・全国に比べて高い一方、「粒子」を柱とする領域に関する正答率が低かったので、実験に対して感心を高められるように、身近な現象や身近なものに目を向けさせて高めていくように努めます。

これらのことから授業では、知識を相互に関連付けてより深く理解する場面を設定し、問題を見い出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする「深い学び」が実現するように努めます。

- 教育委員会から：宮崎中学校では、他者を尊重し、協動的な態度を養う指導を実践したことにより、生徒一人一人がお互いを大切に、学校生活を送る態度にあらわれています。また、ICT機器を活用した授業や教科横断的に生き方と重ねた授業を展開したことで、主体的に学習に取り組む生徒が増え、「深い学び」の実現につながっていると捉えています。

宮前区・教育担当